

● 修士進学の **3大メリット**

1. 人生の中で最も成長できる機会である
2. 修士は就職に有利（特に大手企業や、研究・開発系職）
3. 生涯年収は学部卒よりも高い（平均して4～5,000万円の差）

家1軒分の差！

● 修士進学の **デメリット**

- 入学金と2年分の授業料がかかる（2年で135万円ほど） + 生活費
- 自己研鑽の意欲がなければ成長しない（2年間がムダ...）
 - ✓ 社会に出たくないという消極的な理由で進学するのはよろしくない

1. 成長できる機会が多い

- 成果をまとめて学会発表をしたり，修士論文をまとめたりする過程で，相応の能力※と自信がつく
 - ・ 組織に対して責任を負わない（給料をもらっているわけではない）ので精神的に安定した状態で勉強できる
- ※ コミュニケーション能力（文書作成・プレゼン・話術・語学力など），企画力，開拓力，突破力など
- 指導教員（あるいは研究室の先輩・同輩）から，個別に指導を受けることができる
 - ・ 企業には，研修時を除いては，教育してくれる人は（ほぼ）いない
- 自分が後輩に教えることも（アウトプット），成長の糧となる

成長にはインプットだけではなくアウトプットも重要です

2. 就職に有利

● 修士卒は人生の選択肢が増える

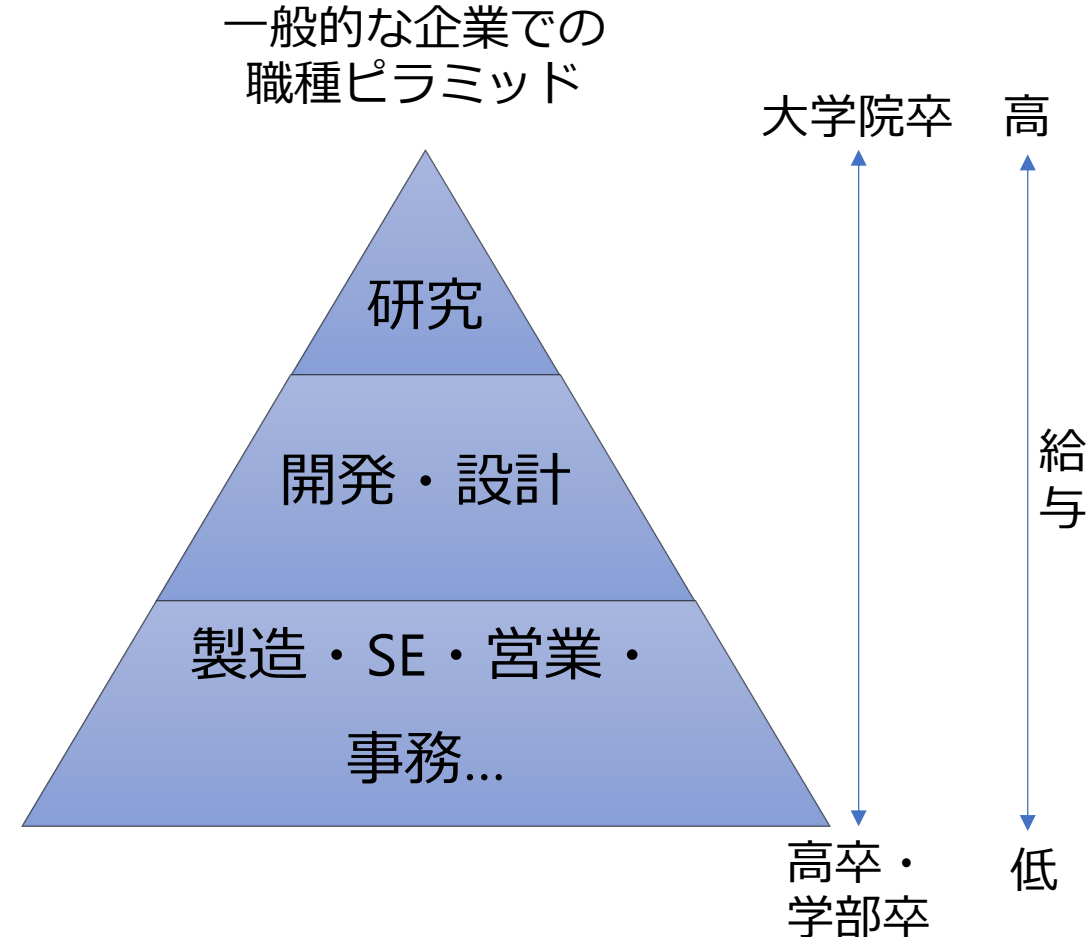
- 特に大企業への就職に有利
- 研究・開発職を目指すなら修士卒

※ 注意) 本人の資質にもよるので、あくまで一般論

- 景気の影響を受けにくい
- 博士にも進学できる
 - ✓ 博士に通わせてくれる会社もあるが (社会人博士はしんどいかも)
 - ✓ ようやく国から博士学生への支援が増えてきた

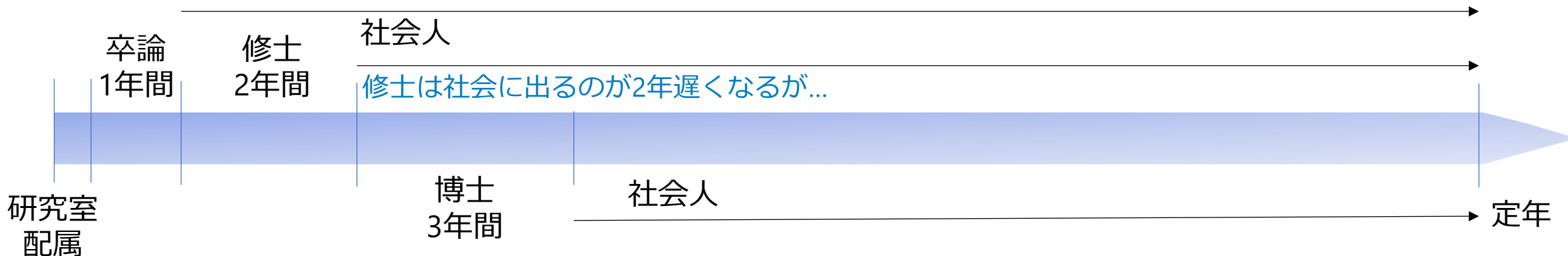
● 面接で有利

- 採用者からみると、修士に進学していることは向上心があると見られる
- 学会発表経験があると、一定の能力が保証されていることになる



3. 修士卒は生涯収入が高い

国の調査で明らかになっている事実



- 生涯獲得給与は30～35歳前後くらいで逆転が起きる ※注意) 当然, 会社による
 - ・ 新卒基本給が約2～3万円違う (残業の手当 (時給) も違う)
 - 継続勤務年数にともない給与格差は広がる
 - ・ 50歳くらいになると, 月給で10～20万円ほどの差が生まれる
- ※ 厚生労働省 令和2年賃金構造基本統計調査結果より
- 修士2年分の投資は十分回収できる可能性が高い

● 修士進学の **3大メリット**

1. 学生の中で最も成長できる機会が多い

これからの長〜い人生のキャリアをよく考えましょう！
経済的な理由や家庭の事情などの障害がないなら、ぜひ進学を！
(なお、工学系では働きながらの修士進学は、ほぼ無理)

- 入学金と2年分の授業料がかかる（2年で135万円ほど） + 生活費
- 自己研鑽の意欲がなければ成長しない（2年間がムダ...）
 - ✓ 社会に出たくないという消極的な理由で進学するのはよろしくない